



# 月刊 いちえふ。

2015年  
12月号

1 FOR ALL JAPAN 事務局

## とびっくす

### インフルエンザの予防接種 実施中

先月に引き続き、インフルエンザの発症の予防と感染拡大防止に向けて、予防接種を実施中です。予防接種の場所と日時については、各企業の担当の方にご確認を。

### 飲酒運転防止の徹底！

お酒を飲む機会が増える時期です

車の運転をする可能性があるときは、「絶対に飲酒をしない」「勧められても断る」強い意志を持ちましょう。また、運転手の方にはお酒を勧めないでください。

### 「いわき光のさくらまつり」

11月28日から来年1月11日まで

「ここに集う、満開の笑顔一咲き続ける希望のさくらー」をテーマに、いわき駅前のケヤキ並木が「希望」のさくらで満開になります。ぜひ、おいでください。点灯は17時～23時。

## 1Fを守る仲間たち 02

### 高い水準の知識と技術を 次の世代に伝えていきたい

おおaura ひとし  
大浦 仁さん

株式会社東京エネシス 原子力本部  
福島総合支社 機械工事部 副長

廃炉に向けて、難しい問題として立ち上がる汚染水処理。安全で安心な処理を進めるため、現在、事故の直後から汚染水をためてきた現存するタンクを、より安全性の高い新しいタンクに交換しているところです。「大切なのは配管を取り外すとき。少しの汚染水も漏れることのないよう最大の注意を払っています」と語る、東京エネシス副長の大浦仁さんにお話を伺いました。

—どのような作業をしているのですか。

大浦さん：現在は、汚染水タンクのリプレースと解体工事にもともなう配管の撤去、タンクに残っている汚染水の移送、タンクの洗浄などです。そのなかで、管理者の立場で仕事をしています。なかでも重要なのは、フランジ（継ぎ目）のあるタンクから、配管を安全に取り外す仕事です。

汚染水が外に流れ出ないように、配管の養生には特別な方法を取り、作業の手順にも間違いがないように、現場で働く人たちとは念入りにコミュニケーションをとっています。

### 作業員さんの体調管理が なによりも大切

—とくに、どういう点に注意をなされていますか。

大浦さん：私の班は朝5時半に1Fに集合するので、平日は毎晩9時前に寝て、午前2時半から3時ごろに起きるという毎日です。ですから、朝に合わせて体調管理をすること

1991年に入社。すぐに1Fに配属され、定期検査や工事に携わる。その間、東京本社に1年間勤務、柏崎刈羽原子力発電所や東海発電所に応援で行ったことはあるものの、それ以外はずっと1Fで仕事をしてきた。





大浦さんのお勤め先

株式会社東京エネシス

1947年に株式会社東京電氣工務所として創業。2001年に株式会社東京エネシスに改称。発電所、変電所、工場などの建設・保守管理をはじめ、土木、管路、建築工事の設計・施工、保守点検などに取り組んでおり、福島第一原子力発電所の廃炉作業においては、汚染水処理系や循環冷却系などの設備保守点検工事を行っている。

がとても大切で、毎朝のミーティングでも、作業員さんの体調管理には気をつけています。みなさんの顔色や表情を見て、体調を判断するのも私の重要な仕事です。体調が悪いのに無理をすれば、事故や災害につながってしまいます。

——作業員さんとの打ち合わせで大切なことは。

大浦さん：1つひとつの工事仕様を説明するときには、なぜそれをするのかという理由をきちんと伝えるようにしています。つまり、「この機材を、ここからあそこに動かしてほしい」という言い方ではなく、「〇〇という目的があるので、この機材をここからあそこに動かしてほしい」という言い方で仕様を説明するのです。作業員さんたちは、目的や理由がわからなければただ動かすだけで終わってしまいます。ときには、「なぜ?」「面倒だな」という気持ちも生まれるでしょう。そうすると、ケガやミスにつながる恐れがあります。でも、「ここには別の機材を置くから」と言われれば、

あいた場所をきれいに掃除しようという気持ちになりますし、「移動する機材は重要なものです」といえば機材を大切に扱おうという気になります。そうしたことを通じて、仕事に対する意欲やプライドをみなさんに持っていただきたいのです。

みんなの気持ちが1つになれば  
不可能が可能になる

——震災前からずっと1Fで仕事を続けてきたんですね。

大浦さん：廃炉工事にあたっては、震災前を知っている人がいるべきだと思うのです。ところが、震災前からいた人の何人かは、事故直後の大変な時期に仕事をなさったことで、被曝放射線量が上限値を越えてしまったために、1Fで仕事が続けられなくなってしまいました。私も多少の線量を残しているのですが、ここにいることができます。そして、できる限りのことを後輩たちに伝えたいと考えています。高い水準の知識と技術を次の世代に伝えることは、昔を知る私たちの務めだと思うのです。



大浦さんはこんな人  
～取材メモから～

【出身地】 福島県浪江町

【好物】 かんきつ類が好き、  
海沿いの育ちだが、なま物は苦手

【休日の過ごし方】  
犬の散歩、ジョギング、サッカー

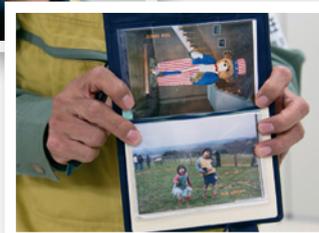
【最近ハマっていること】  
グレープフルーツを着いた  
焼酎を飲むこと



震災前までは地元、浪江町の少年サッカーチームの監督をしており、今も休みの日にはサッカーで汗を流す



成人しているお嬢さんの幼かった頃の写真をいつも持っているそう



おしらせ

# 1Fの労働環境にかかわる アンケート(第6回)の結果が 公表されました

労働環境改善に向けたアンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

今後も「安心して働きやすい職場」づくりに取り組んでまいります。引き続き、1Fの安定化・廃炉に向けたご協力を、よろしくお願いいたします。

くわしいアンケート結果は1 FOR ALL JAPANウェブサイトの新着情報をご覧ください。

## 【アンケート実施方法】

(東京電力福島第一廃炉推進カンパニー)

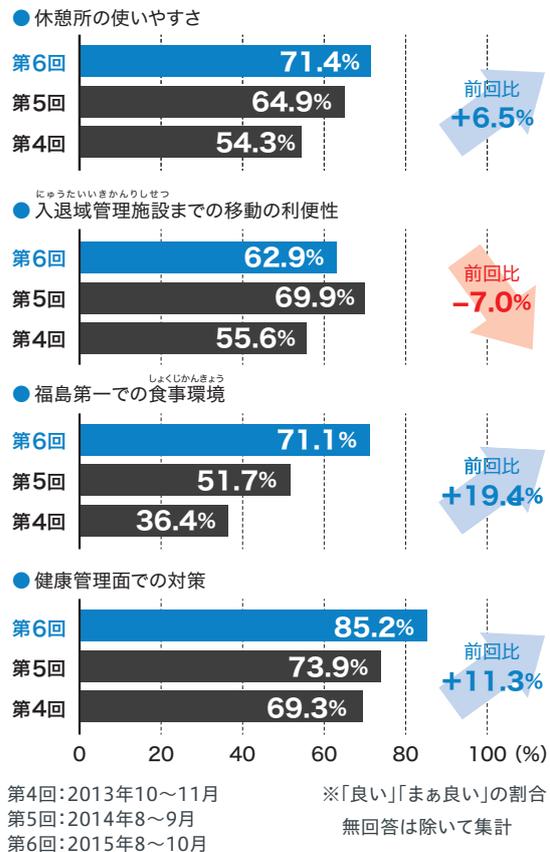
対象: 1Fの作業に従事するすべての作業員の方  
(東電社員を除く)

方法: 無記名式

期間: 2015年8月27日～10月7日

回答者数: 6527人(7558部配布, 回収率86.4%)

## 3年間の労働環境評価



## いちえふのいま

# 大型休憩所にシャワーを設置する 工事がはじまります

1Fでは、作業を終えたみなさまが疲れをいやしていただけるよう、来年4月、大型休憩所3階に、個室を30室備えたシャワー室ができあがる予定です。それとともない、工事のはじまる12月から、現在3階にある食堂が2階に移ります。そのため、仕事からもどったのち、階段を上がらずに食堂に行けるようになります。

また、1Fにおける仕事に対して、厚生労働省が安全管理のため

の新しいガイドラインを定めました。これを受け、引き続きみなさまが安全に、かつ安心して働いていただけるよう努めてまいります。放射性物質により汚染した地下水が海に流れるのを防ぐ「海側遮水壁」については、10月26日に作業が終わり、壁を完全に閉じることができました。

一方、汚染水をためるタンクのうち、H1東エリアにあった旧型のフランジタンクは、10月28日



に12基すべての解体が終わりまりました。引き続き、別の場所でも、安全性の高い新しいタンクに交換してまいります。

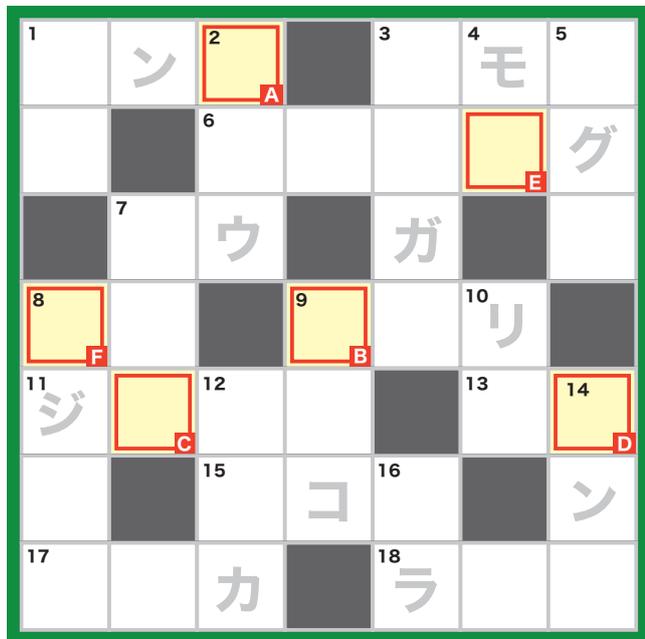
1号機の原子炉建屋では、10月5日に建屋カバーの屋根パネルを取り外す作業が完了しました。3号機では、10月15日に燃料ラック上の大型がれきの撤去が完了しました。

いこいの時間

# 〈クロスワード〉



毎号、ちょっと息抜きができるお楽しみを掲載していきます。今月はクロスワードです。タテとヨコのキーをヒントの手がかりにして、A~Fの印がついた箇所の文字を並べると、答えの言葉になります。みなさん、お分かりになりますか？



A	B	C	D	E	F

## 回答の仕方・プレゼントのお受け取り方法

クロスワードの答えが分かった方には、プレゼントをさしあげます。

「ヴィレッジ受付に本誌をお持ちになり、ご回答ください

**12月18日 14時~17時**

※ご本人に直接手渡しいたします  
先着30名となりますので  
終了した場合はご了承ください



## クロスワードヒント

### <ヨコのキー>

- 1 福島のフルーツ「ふじ」「紅玉」といえば何？
- 3 魚を天日干しにしたもの
- 6 拳闘
- 7 英語でキング
- 8 ○○仕事、箱○○、○○木
- 9 反対語は「はずれ」
- 11 楽あれば苦ありと言われるもの
- 13 冬は北から吹きます
- 15 東日本はスイカ、西日本は？
- 17 学校のココは走ってはいけません
- 18 飛行機を発明した「○○○兄弟」

### <タテのキー>

- 1 お金を貸しても、借りても付くもの
- 2 黒くて細長い根菜
- 3 ひな祭りの菱餅(ひしもち)の形
- 4 家○○、指○○、○○限
- 5 福島県出身の細菌学者で千円札の人物は「○○○英世」
- 7 一寸法師は、何の舟に乗った？
- 8 レインボーカラー、日本語で言うと？
- 9 ジャンケンで同じものが出た
- 10 実験がある授業
- 12 オリンピックで掲げる炎
- 14 ○○多難、○○洋々、○○有望
- 16 卵の外側

## 今号のプレゼント

「喜多方ラーメンせんべい」や「酪王カフェオレサブレ」、「福島ゼリー」など、福島名産のお菓子の詰め合わせです。

協力:日本マーケティング協会様



※賞品は写真と異なる場合がございます

## ウェブサイトのご紹介

福島第一原子力発電所の廃炉作業を進める作業員のみなさまに、働く仲間や応援者のメッセージを伝えたいという思いで2015年10月に開設した「1 FOR ALL JAPAN」です。ウェブサイトでも本誌でも、いちえふで働く作業員のみなさまを応援していきます。



<http://1f-all.jp/>

月刊いちえふ。  
2015年12月号

【発行日】2015年12月10日  
【発行】

1 FOR ALL JAPAN 事務局  
(東京電力SC室)  
【お問い合わせメールアドレス】  
info@1f-all.jp